

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 5 月 20 日(2025.5.20)

【公開番号】特開 2023-183468(P2023-183468A)
【公開日】令和 5 年 12 月 28 日(2023.12.28)
【年通号数】公開公報(特許)2023-245
【出願番号】特願 2022-96998(P2022-96998)
【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 3 2 6 Z

A 63 F 7/02 3 2 6 C

A 63 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 5 月 12 日(2025.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

遊技者に利益を付与するか否かを抽選する抽選手段と、
前記抽選手段による抽選結果に基づいて図柄を変動表示すると共に前記利益を付与する場合には前記図柄を特定態様で停止させる図柄表示手段と、
前記抽選結果に関する演出を、前記図柄表示手段による変動表示と共に、複数種類の変動パターンの何れかに従って実行させる演出制御手段と、

遊技島設備に固定可能な外枠と、

後部側を前記外枠内に挿入した状態で前記外枠の前側に配置される前枠と、

30

前記前枠の背面側に配置されるエラー解除操作部と、

前記前枠の前面側に遊技者が操作可能に配置される発射ハンドル及び演出操作手段と、
を備え、

前記複数種類の変動パターンは、前記図柄がリーチ状態となった後に実行するリーチ演出において結果表示を行うリーチ変動パターンを含み、

前記前枠は、前記外枠に対して、左右方向一端側のヒンジ部廻りに回転可能な状態で装着されるとともに、前記外枠に対する回転角度が 0°となる閉状態のときに、前記前枠における左右方向他端側である開閉端近傍に鍵穴を有する施錠手段により前記外枠に対して施錠可能であり、

前記前枠は、前記演出操作手段が配置され且つ前記発射ハンドルよりも前側に突出する突出部を有し、

40

前記エラー解除操作部が操作されることを含む特定エラー解除条件を満たす場合に特定のエラー状態を解除可能な

遊技機において、

前記リーチ変動パターンでは、前記リーチ演出が特定リーチ演出である場合に、該特定リーチ演出中に操作有効期間を設け、該操作有効期間中に所定操作手段が操作されて演出実行条件が成立した時点で前記結果表示を開始するように構成し、

前記リーチ変動パターンのうち、前記図柄が前記特定態様となる当り変動に対応するリーチ当り変動パターンでは、前記特定リーチ演出における前記結果表示として、復活当り結果表示と通常当り結果表示とを含む複数種類の何れかを実行可能であり、

50

前記復活当り結果表示と通常当り結果表示では、可動体の動作を伴う可動体演出を実行可能であり、

前記復活当り結果表示は、最初にはずれ結果演出を実行した後、それまでの特別背景を通常背景に切り替える背景復帰演出及び通常画面表示を経て復活当り結果演出を実行して終了するように構成し、

前記通常当り結果表示は、前記はずれ結果演出、前記背景復帰演出及び前記通常画面表示を実行することなく、通常当り結果演出を実行して終了するように構成し、

前記復活当り結果表示における前記はずれ結果演出は、前記図柄が前記特定態様とならない旨のはずれ表示を実行して終了し、

前記通常当り結果表示における前記通常当り結果演出は、前記図柄が前記特定態様となる旨の当り表示を実行して終了し、

前記特定リーチ演出において前記操作のタイミングに応じて前記結果表示の開始時期が変化しても該結果表示の終了時期を変化させないための時間調整を、前記復活当り結果表示では前記可動体演出及び前記背景復帰演出の前で且つ前記はずれ結果演出における前記はずれ表示の実行後に、前記通常当り結果表示では前記可動体演出の後で且つ前記通常当り結果演出における前記当り表示の実行後に夫々行い、

前記突出部は、前向き突出量が左右方向の中央部から前記ヒンジ部側にかけて徐々に小さくなっており、

前記前枠を前記外枠に対して所定開放状態まで開放したとき、前記エラー解除操作部が、前記外枠と前記前枠の間から操作可能となり、

前記所定開放状態では、前記エラー解除操作部が前記外枠の前縁よりも前側に位置するとともに、前記突出部はその全体が前記ヒンジ部よりも左右方向内側に位置していることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明は、より効果的な演出を行うことができるとともに、その遊技を中断して行う可能性のある作業を効率的に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、遊技者に利益を付与するか否かを抽選する抽選手段と、前記抽選手段による抽選結果に基づいて図柄を変動表示すると共に前記利益を付与する場合には前記図柄を特定態様で停止させる図柄表示手段と、前記抽選結果に関する演出を、前記図柄表示手段による変動表示と共に、複数種類の変動パターンの何れかに従って実行させる演出制御手段と、遊技島設備に固定可能な外枠と、後部側を前記外枠内に挿入した状態で前記外枠の前側に配置される前枠と、前記前枠の背面側に配置されるエラー解除操作部と、前記前枠の前面側に遊技者が操作可能に配置される発射ハンドル及び演出操作手段と、を備え、前記複数種類の変動パターンは、前記図柄がリーチ状態となった後に実行するリーチ演出において結果表示を行うリーチ変動パターンを含み、前記前枠は、前記外枠に対して、左右方向一端側のヒンジ部廻りに回転可能な状態で装着されるとともに、前記外枠に対する回転角度が0°となる閉状態のときに、前記前枠における左右方向他端側である開閉端近傍に鍵穴を有する施錠手段により前記外枠に対して施錠可能であり、前記前枠は、前記演出操作手段が配置され且つ前記発射ハンドルよりも前側に突出する突出部を有し、前記エラー

10

20

30

40

50

解除操作部が操作されることを含む特定エラー解除条件を満たす場合に特定のエラー状態を解除可能な遊技機において、前記リーチ変動パターンでは、前記リーチ演出が特定リーチ演出である場合に、該特定リーチ演出中に操作有効期間を設け、該操作有効期間中に所定操作手段が操作されて演出実行条件が成立した時点で前記結果表示を開始するように構成し、前記リーチ変動パターンのうち、前記図柄が前記特定態様となる当り変動に対応するリーチ当り変動パターンでは、前記特定リーチ演出における前記結果表示として、復活当り結果表示と通常当り結果表示とを含む複数種類の何れかを実行可能であり、前記復活当り結果表示と通常当り結果表示では、可動体の動作を伴う可動体演出を実行可能であり、前記復活当り結果表示は、最初にはずれ結果演出を実行した後、それまでの特別背景を通常背景に切り替える背景復帰演出及び通常画面表示を経て復活当り結果演出を実行して終了するように構成し、前記通常当り結果表示は、前記はずれ結果演出、前記背景復帰演出及び前記通常画面表示を実行することなく、通常当り結果演出を実行して終了するように構成し、前記復活当り結果表示における前記はずれ結果演出は、前記図柄が前記特定態様とならない旨のはずれ表示を実行して終了し、前記通常当り結果表示における前記通常当り結果演出は、前記図柄が前記特定態様となる旨の当り表示を実行して終了し、前記特定リーチ演出において前記操作のタイミングに応じて前記結果表示の開始時期が変化しても該結果表示の終了時期を変化させないための時間調整を、前記復活当り結果表示では前記可動体演出及び前記背景復帰演出の前で且つ前記はずれ結果演出における前記はずれ表示の実行後に、前記通常当り結果表示では前記可動体演出の後で且つ前記通常当り結果演出における前記当り表示の実行後に夫々行い、前記突出部は、前向き突出量が左右方向の中央部から前記ヒンジ部側にかけて徐々に小さくなっており、前記前枠を前記外枠に対して所定開放状態まで開放したとき、前記エラー解除操作部が、前記外枠と前記前枠の間から操作可能となり、前記所定開放状態では、前記エラー解除操作部が前記外枠の前縁よりも前側に位置するとともに、前記突出部はその全体が前記ヒンジ部よりも左右方向内側に位置しているものである。

10

20

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【0006】

本発明によれば、より効果的な演出を行うことができるとともに、その遊技を中断して行う可能性のある作業を効率的に行うことが可能である。

40

50